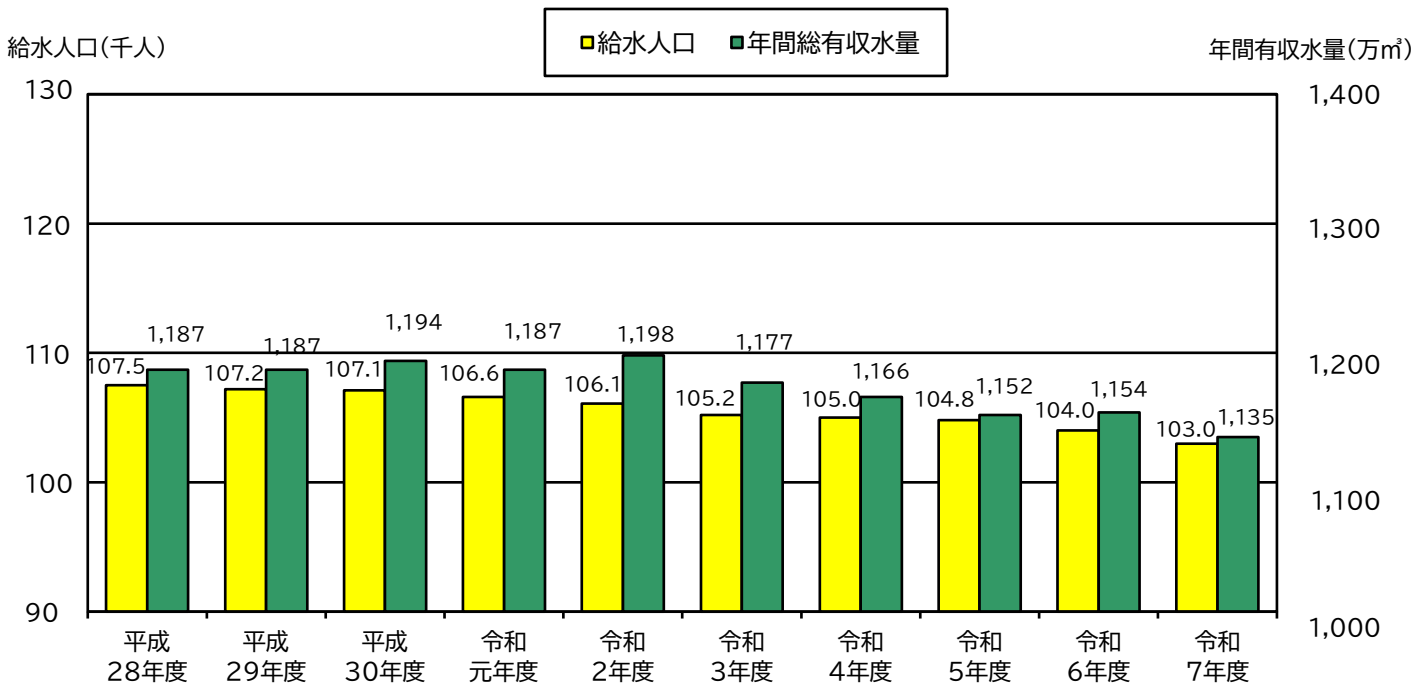
令和7年度
水道事業の決算

みなさまの暮らしを支える水道。
「どのくらい使われている？」「何にお金がかかる？」をお知らせします。

1.　水道は、どのくらいの人が使っているの？

給水人口	普及率	給水戸数	年間有収水量	有収率
102,967人	92.5%	50,816人	11,351,662㎥	93.5%



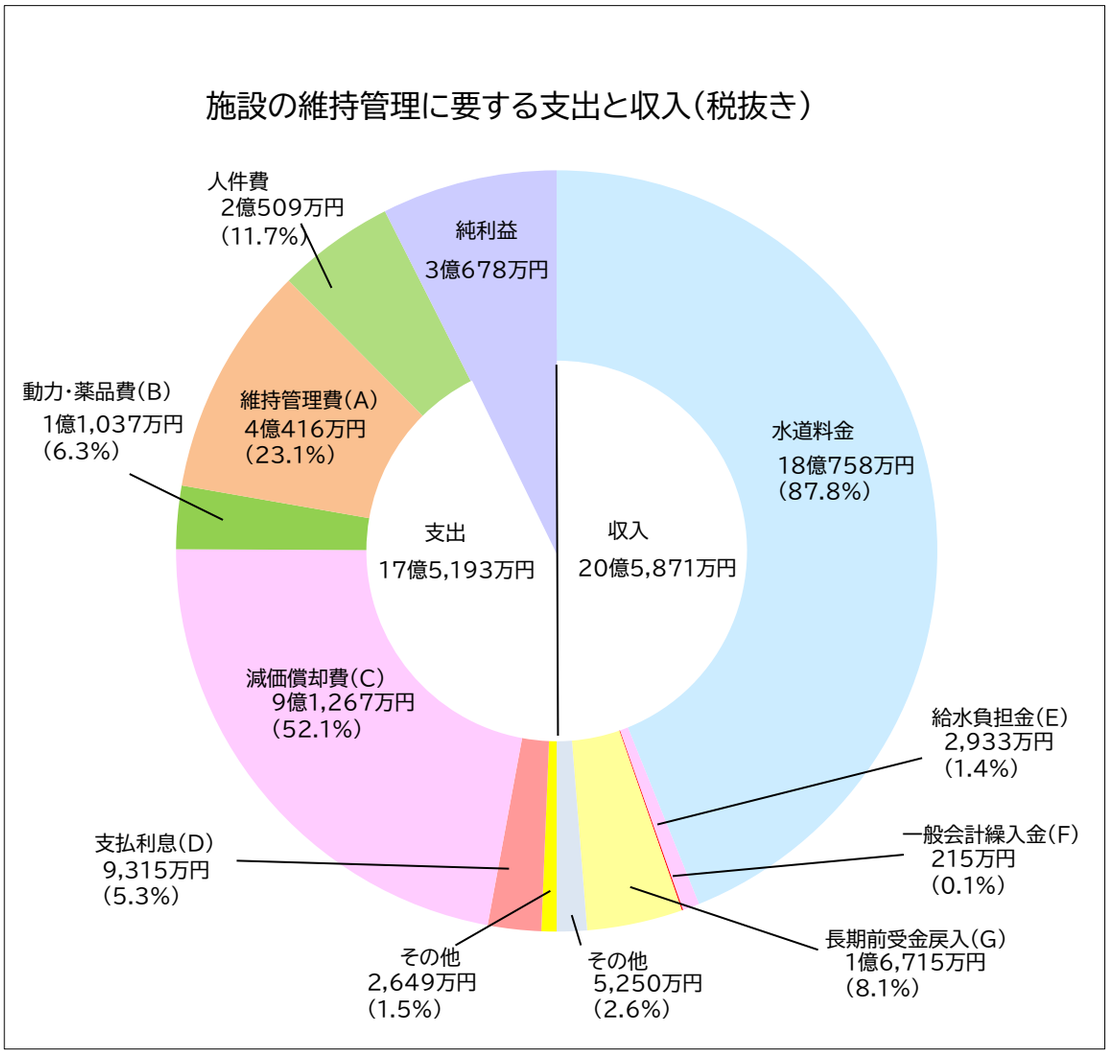
給水人口は減少傾向にあり、それに伴って年間総有収水量も減少傾向にあります。

用語の説明

普及率：市内人口のうち、水道を利用できる地域に住んでいる人の割合です。
有収水量：配水した水のうち、水道料金収入のもととなる水量です。
有収率：水道料金収入の対象となる水の割合です。

2. みなさまからいただいた水道料金は、何に使われている？

水道水を毎日お届けするため、施設の維持管理や減価償却、動力・薬品、借入金の利息などにお金がかかります。
収入には、水道料金のほか、給水負担金や長期前受金戻入などがあります。

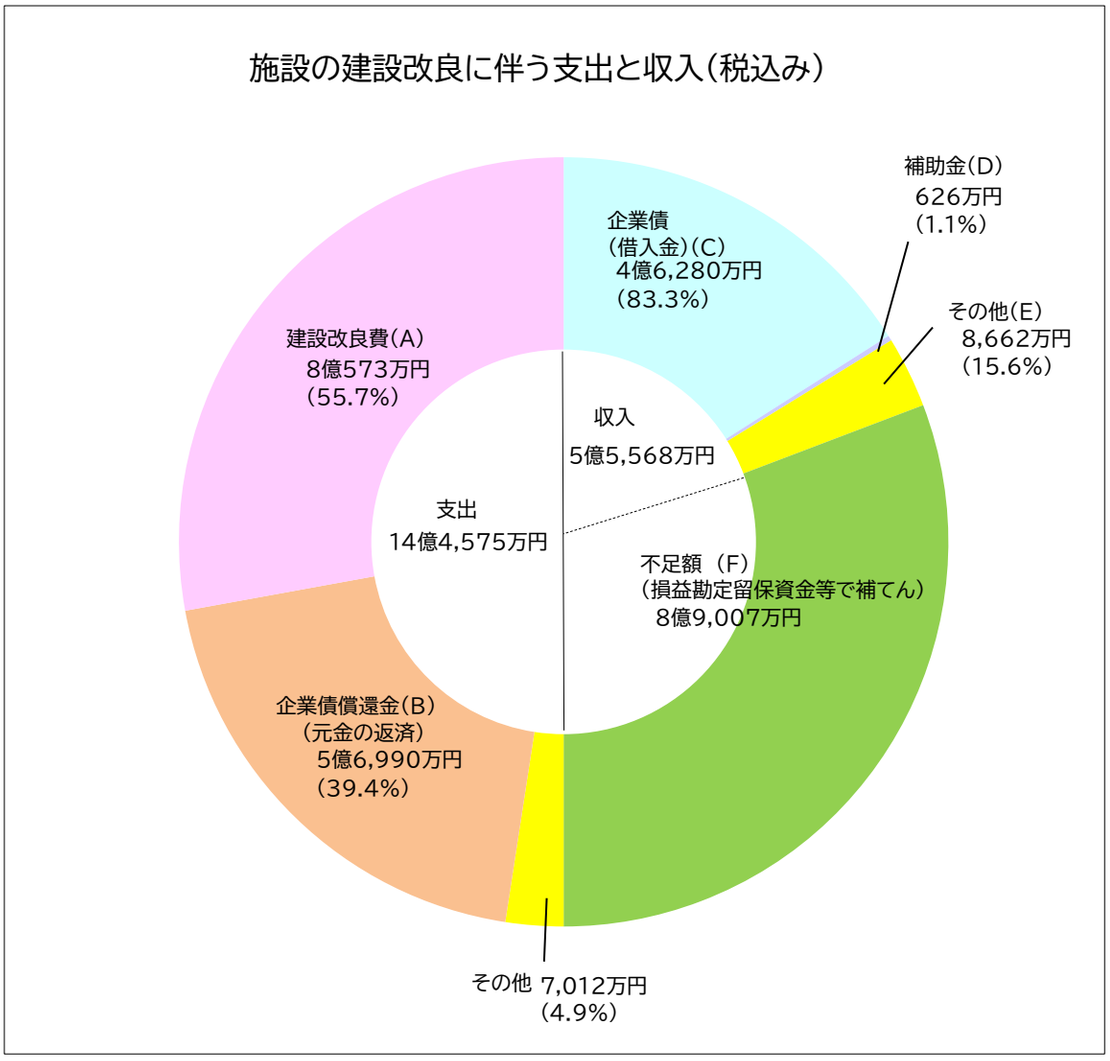


用語の説明

維持管理費（A）：	水道施設を日々、安全・安定的に運転するための費用
動力・薬品費（B）：	水道施設などで必要な電気料金、薬品費
減価償却費（C）：	水道管や水道施設などの建設費を、耐用年数に分けて費用化したもの
支払利息（D）：	施設整備などのために借り入れたお金の利息
給水負担金（E）：	新規の給水申し込み時などにいただくもの
一般会計繰入金（F）：	水道事業を運営するために、市の一般会計から受け入れたお金
長期前受金戻入（G）：	建設時に受け取った補助金などを、減価償却費に合わせて収益化したもの

3. 施設の整備・更新には、どれくらいかかる？

配水管や水源地、配水池は、長く使う大切な施設です。新しく整備するだけでなく、古くなった施設を更新していく必要があります。
そのために必要なお金は、企業債や補助金で賄っています。



用語の説明

建設改良費（A）：	水道管の布設、施設の改築・更新などにかかるお金
企業債償還金（B）：	国などから借り入れたお金の元金返済金
企業債（C）：	国などから借り入れたお金
補助金（D）：	国からの補助金
その他（E）：	水道事業を運営するために、市の一般会計から受け入れたお金等
不足額（F）：	事業に必要な資金が不足する分を、減価償却費などをもとに蓄えてきた資金で補うもの

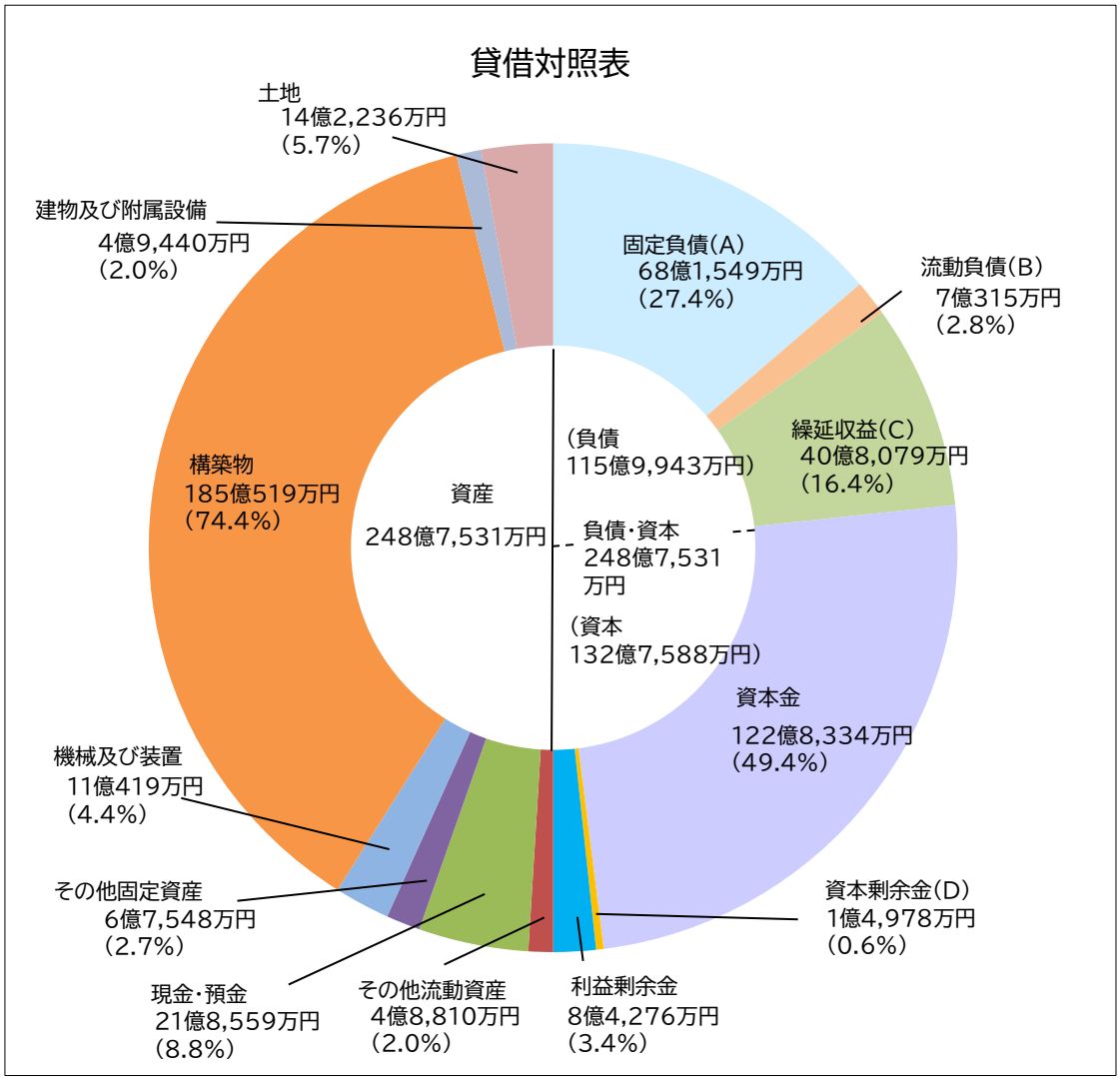
※収入額には、翌年度に使う予定の財源は含めていません。

令和7年度の主な建設改良事業

- 老朽管の布設替工事　5,432.2m（令和6年度からの繰越工事〔2,339.6m〕を含む）
- データ伝送装置機能増設業務
- 寿第二水源地水質計器移設業務

4.　防府市の水道施設は、どれくらいある？

令和7年度末の資産は248億7,531万円。そのうち、各家庭に水道水を送り届けるための配水管などの「構築物」が74.4%を占めています。



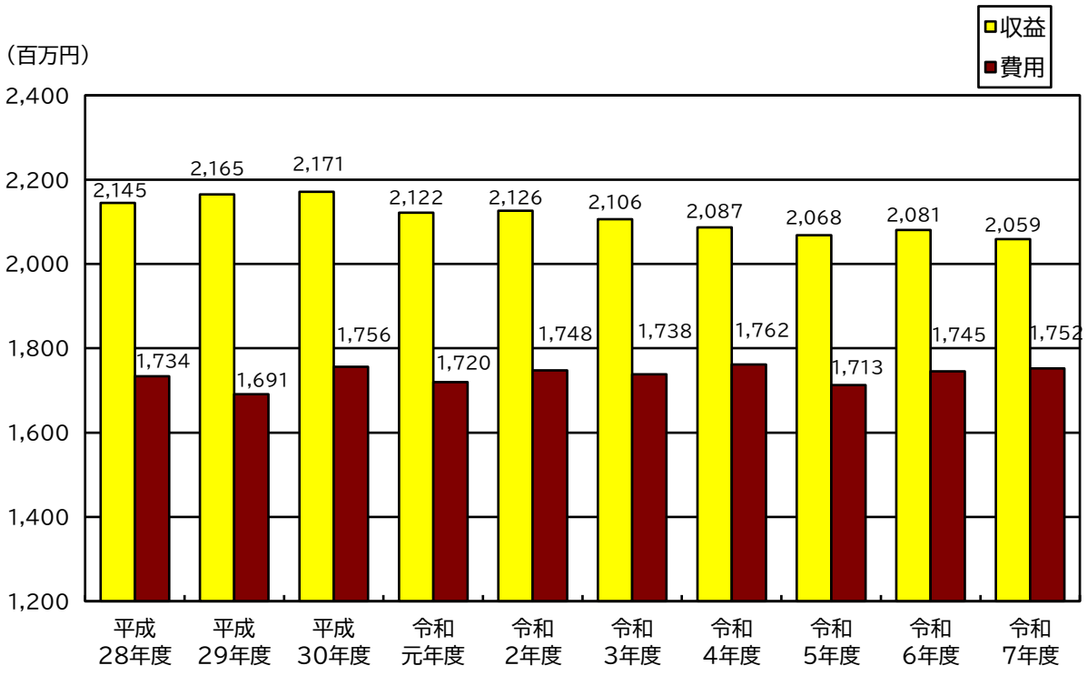
用語の説明

固 定 負 債 (A)：	支払期限が1年以上後になる企業債などの長期借入金や1年を超えて使用されるもの
流 動 負 債 (B)：	支払期限が1年以内の借入金、未払金や1年以内に使用されるもの
繰 延 収 益 (C)：	建物など、償却資産を取得する際に財源として過去に交付を受けた国庫補助金など
資本剰余金 (D)：	土地など、非償却資産を取得する際に財源として過去に交付を受けた国庫補助金など

5. 水道事業を取り巻く環境は、変化しています

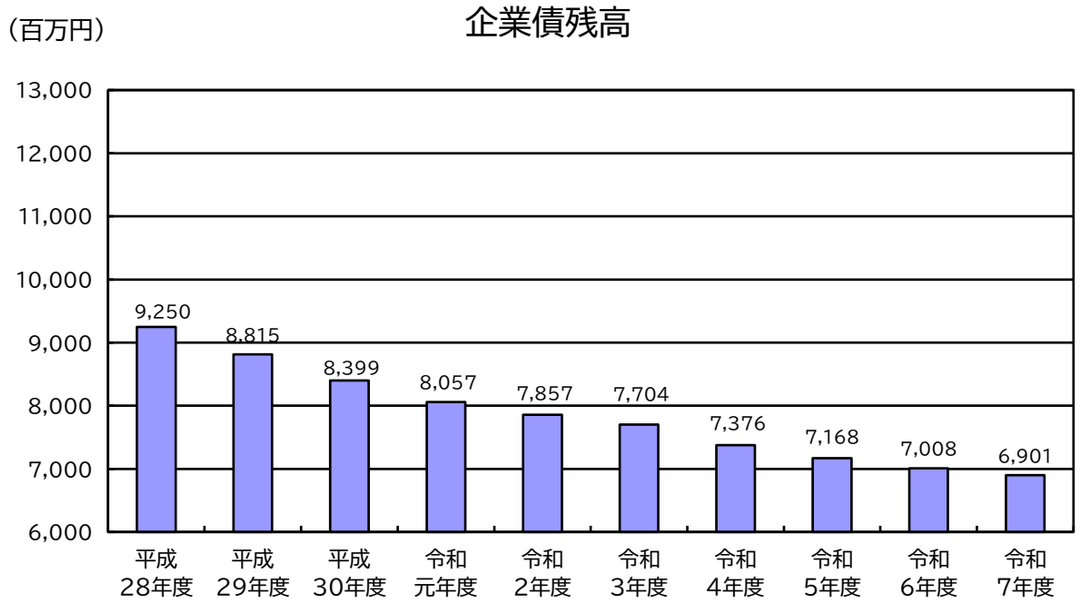
収益と費用の推移

収益は、給水人口や水需要の減少により前年度に比べ減少しています。
一方、近年の物価高騰により、施設の維持管理や更新にかかる費用は増加しています。



企業債残高の推移

企業債残高は減少傾向にありますが、施設の整備や改良などで借入額が増加し、企業債残高も増えていく見込みです。



6. 市民のみなさまへ

水道は、毎日の暮らしに欠かすことのできない大切なライフラインです。
人口の減少やなどにより、水道水の使用料は今後も減少していくことが見込まれます。一方で、老朽化した水道管や施設の更新には、これからも多くの費用が必要です。
これからも、安心・安全な水道水を安定してお届けするために、計画的な整備・更新と効率的な事業運営に努めていきます。